

図書館からのお知らせ

～ 今日のおすすめ本 ～

・ 将来の学力は10歳までの「読書量」で決まる

読解力は学力の基盤であり、それを培うのが読書。地頭が作られる10歳くらいまでに、どれだけの本を読んだか。読んでもらったか。幼少期の読書体験がその後の学力に大きく影響を及ぼす。効果的な読み聞かせの方法、どういう本が良いのか、どうしたら子どもが本好きになるのか。また、本を読むことがどれだけ国語力ひいては学力全体を伸ばすことになるのか…。「受験のプロ」として、読書の大切さをおりにふれ力説する著者が、具体的に解説します。



・ 空へ

お話は「おかゆ」「水きり」「くちば色」「いつか」「兄弟」「神輿」の連作短編集。

表紙いっぱいに広がる真っ青な空は、主人公の陽介を包みこむかのようにやさしく、見上げると胸の奥から力が湧いてくるような、そんな存在のように感じられます。さまざまな現実につづり、悩み、揺れる主人公と同世代の高学年から中学生の子たちへ。また真っ直ぐに一歩一歩前に進む陽介の姿は大人の心にもじんわりと効いてくるようです。



和紙の里コーナー

東秩父村和紙の里では、研修会館に宿泊者がいるときや夕刻まで使用しているときに合わせ、中庭のライトアップをはじめました。

みんなのページ



日没から午後9時ごろまで行っています。詳しくはお問合せください。

東秩父村和紙の里 ☎82-1468

みどりの杜俳句会

文

芸

白石短歌会

庭先に散らばり咲きや桜草 高橋 ツ子	香り良き桜餅なりやはらかし 鈴木 啓子	川辺りに水仙並び風の中 杉田 静枝	道路端芽の揃ひ出でかきつばた 飯野はつ志	梅の散る池に鱒釣り炭火焼 馬場 芳	春寒や夫の病に胸晴れず 田村 好子	青木の実まつ赤に房の垂れ下る 飯野 トヨ	春日射し木工所屋根さざ止る 河西力ナメ	友よりの初落みそや食すすむ 土屋 寿子	前山の白木蓮や鳥つつく 大久根ケフ	日蝕の見えず午後より春の雨 富田 とり	落のたう天ぶらにして母忌日 山崎 ひろ	着る服に迷ふ予報や春暑し 関口 真吾	花々にかこまれ実るきんかんの 香りゆたかに初とりの味 渡邊 京子
	広げある堆肥つつきて夕雲雀 山田 美子	外堀に芽ぐむ菖蒲の青さ増す 初雁 功子	大椿枝いつばいに咲き垂るる 土屋 厚子	春日和秩父札所におはぎ食ふ 高野 利雄	花桃や遠く秩父の山つづく 岡部富美子	やぶ椿落つる地面の赤きかな 千野さき子	チューリップ漸く芽の出山の家 野口利江子	柵の間に土筆並びて胞子落つ 関口 侑子	黒竹に春の雨止み幹のつや 小宮 勉			人よんでビタミンボイスと 云うそうな 渡邊美枝子	
							深き香の漂う朝の仏間には 老山白檀の葉も供う 白石 礼子	花々と共に逝きにし人偲ぶ 西行法師の歌想ひつつ 坂本 美江	三山ひろしの歌じんわり沁みる 渡邊美枝子				
							山土のやさし感触踏みしめつ 客に饗するわらびを摘めり 渡邊阿里子						

